

令和7年度 社会福祉法人穩寿会 事業計画

【法人理念】

『最良の心がけとより質の高いサービスの提供』

【基本方針】

全ての団塊世代が後期高齢者となる2025年、高齢者福祉・介護を取り巻く環境は新たなステージに入ったと言えます。また、少子高齢化により加速する人手不足や世界情勢の変化に伴う物価高騰等により、当法人を取り巻く経営環境は益々厳しくなってきています。こうした環境下で、これからも当法人が質の高いサービスを通じて地域社会に貢献していくにあたり、以下の3つを基本方針とします。

1 人材を大切に守り・育てる

私たちのサービスは全て人の手によって供されるものです。すなわちサービスの担い手であるスタッフ一人ひとりがやりがいを持って気持ちよく働くことがサービスの質に直結します。そのために、スタッフの育成や働きやすい環境構築に取り組んでいきます。

2 安心・安全を基本とし、令和の社会ニーズに沿ったサービスを追求する

「安心」と「安全」は福祉サービス利用の大前提として、本人及びご家族ひいては社会が期待するものです。事故やアクシデントを完全にゼロにすることは困難ではありますが、それらを防ぐべく様々な取り組みを続けていく必要があります。そのうえで、地域から求められ選ばれる事業所となるために、地域住民のニーズを満たすサービスの構築・提供を続けていきます。

3 地域とのつながりを深める

地域社会において選ばれる法人・事業所であるために、より多くの人に私たちの存在や取組みを知ってもらう必要があります。かねてより取り組んでいる地域活動の広報を強化するとともに、さまざまな方策で当法人の地域での存在感を高めています。

【職員状況】

常勤：226名 非常勤：130名

【主な施設整備等について】

1 勝浦裕和園 介護用ベッド更新（41台）

事業規模 1,400万円

2 グリーンユーワ 浴水ろ過装置設置

事業規模 450万円

【拠点ごとの目標及び取組み】

拠点	事業	目標稼働率	施設方針	個別目標及び具体的取組み
裕和園	特養ショート	98.7%	ご利用者が、『尊厳を保持』し『その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう』に支援することを私たち職員が常に目指し続けます。	入院予防・自立型支援・重度化防止の展開によるサービス向上 相談員・ケアマネの援助力向上による稼働率アップ ケアカルテ・インカムの運用による業務効率化 見守りシルエットセンター導入による事故防止力アップ 保育園との交流行事や外出行事の充実
	デイ	82.0%	多職種連携を強化していくことで、今まで以上に個々の利用者の状態やニーズに応えるサービスを提供できるデイサービスを目指します。	AIやノルディックポール導入による機能訓練充実 利用者アンケートを実施しニーズを深堀り 職員間の情報共有・連携強化によるサービスの質向上
	居宅	-	ご利用者の立場にたった支援を心掛けます。	ICT化促進による業務効率向上
勝浦裕和園	特養ショート	98.5%	勝浦地域の地域性でもある個々の繋がりを大切にし、常に笑顔で対応し、サービス利用者が必要とする福祉・医療・社会保障等のサービスをきめ細かく迅速に提供します。また、夷隅地域の行政、福祉施設等、関係団体との情報共有、連携を図ります。	介護機器の更新を行う事で職員の業務効率向上 研修やチェック体制見直しによる事故防止体制強化 Eラーニング・介護福祉士資格取得推進による職員の介護力向上 看取り介護の取組みを開始・特養としての機能強化 地域課題の掘起し、他事業所との情報共有を行うことで、積極的に地域問題の解決に取り組む
	居宅	-		
フローラユーワ	特養ショート	98.0%	ユニット型施設として利用者一人ひとりの生活リズムや価値観を尊重し、「施設のルールに合わせる」のではなく、「利用者の生活に合わせる」個別ケアを目指します。また、地域社会からの福祉に応えるべく他の医療サービスや福祉サービスとの連携も図っていきます。	迅速な入所体制を構築することによる稼働率向上 リハ、口腔ケア、栄養管理の一体的取組による入院予防 施設内外研修の受講を促進することで職員個々の介護力向上 協力フロア体制の推進・深化による個々の職員の負担軽減 移乗介護ロボット・多機能車椅子導入による事故防止 利用時チェックリストの見直しによるリスク低減 SNS等での情報発信による地域・求職者へのPR
かえで	GH 小多機	99.5%	最高の「接遇」と「ケア」でご利用者の「安心」と「満足」を追求し地域社会に貢献する地域密着型サービスを目指します。	多職種連携を強化しチーム全体で利用者や職員を支える体制を構築 感謝カードの活用による職員間の信頼構築を図り、フラットに意見を出し合える環境の醸成 見守りシステム活用による転倒防止、AIシフト作成の導入による業務効率化などICT機器の積極的な活用を促進
グリーンユーワ	ケアハウス 配食	99.5%	入居者が安心して生き生きと暮らせる自立生活を支援します。	面談等で職員個々の状況を把握し働きやすい環境を醸成 体力アップやフレイル予防につながる行事の積極的開催 入浴設備の更新による光熱水費の削減 地域にスペースを開放し、入居者と地域住民の関わりの促進
あんしん誉田	地域包括支援センター	92.5%	積極的に「地域に出ていく」地域包括を意識し、誉田圏域の介護予防促進、地域住民の意識向上、各機関との連携を推進します。	2職種訪問や情報共有の徹底することでチーム支援を強化 カナミックのネットワーク機能やデータ連携機能を活用し業務効率向上 複雑な問題へ対処力向上のため、多機関連携を強化
さくらんぼ保育園	認可保育所	100.0%	子どもたちが、自分らしく表現することのできる環境作りに努め、第二の家庭の中で心の豊かな保育を目指します。	利用者満足度の向上及び業務効率化を目的としたICTを活用した仕組み導入に関する検討の推進 保育の質向上のため外部研修受講を促進